

《研究課題名》

高齢泌尿器癌患者における G8 スクリーニングツールの有用性に関する後方視的研究

《研究対象者》

2017 年 10 月から 2026 年 2 月までに滋賀医科大学付属病院泌尿器科で 65 歳以上の G8 スクリーニングを受けた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2031 年 4 月まで

《研究責任者》 滋賀医科大学 泌尿器科学講座 和田晃典

（2）研究の意義、目的について

《意義》

高齢化社会に伴い高齢癌患者数も増加しています。また医学の進歩により疾病に対する治療選択肢は active surveillance、薬物療法、手術療法、放射線療法と増加しており、患者個々に適切な治療選択が必要となっています。高齢者の評価方法は実年齢のほかに高齢者機能評価（GA）が用いられることがありますが、多忙な日常診療の中ですべての項目を評価することは困難です。このため、8 個の質問からなり、簡便に行うことができる G8 スクリーニングツールが汎用されており、G8 スクリーニングツールにより適切な治療方法選択が行うことが可能となっているか検討する必要があると考えました。本研究を行うことで、高齢者に対して安全な治療選択を提示する一助となると考えます。

《目的》

滋賀医科大学泌尿器科で G8 スクリーニングを行った癌患者において治療方法、合併症、治療成績について後方視的に解析し、G8 スクリーニングの有用性を明らかにすることを本研究の目的としました。

（3）研究の方法について

《研究の内容》

滋賀医科大学付属病院泌尿器科で 65 歳以上の G8 スクリーニングを施行した癌患者を対象とし、電子カルテより、患者データ（G8 スクリーニングスコア、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴、

オプアウト

一般検査、生化学検査、病理細胞検査、画像検査など)、手術データ(術式、麻酔方法、手術時間、出血量など)、転帰(合併症、無再発期間、生存期間など)を抽出します。それらのデータを用いて G8 スクリーニングと疾患、身体所見、治療方法、合併症、無再発期間、生存期間の関係性を分析します。

《利用し、又は提供する情報の項目》

検査データ、診療記録などのカルテ情報

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

(4) 個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報(氏名、生年月日、住所等)を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

(5) 研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記(8)の問い合わせ先へご連絡ください。

(7) 利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用(又は他の研究に提供)することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 泌尿器科学講座 和田晃典

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2273

メールアドレス：hquro@belle.shiga-med.ac.jp